

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	笠松運動公園
施設所管課	教育庁学校教育部保健体育課
指定管理者	公益財団法人茨城県スポーツ協会
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	茨城県ひたちなか市佐和2197-28
施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 560,430.67㎡ ・有料施設 陸上競技場、補助陸上競技場、投てき場、体育館、球技場、テニスコート、野球場、児童スポーツ広場、登はん競技場、屋内水泳プール兼アイススケート場（メインプール、スケートリンク、サブプール、トレーニングルーム）、アーチェリー場 ・無料施設 前庭広場、中央広場、日本庭園、子どもの広場、水の広場
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する業務 ・施設の維持管理に関する業務 ・施設の利用の促進に関する業務 ・スポーツの振興に必要な事業の実施に関する業務

2 職員の状況

常勤職員：	20人	非常勤職員：	0人	合計：	20人
-------	-----	--------	----	-----	-----

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	421,904,000	人件費（給与等）	58,007,637
利用料収入	85,840,773	光熱水費	172,887,029
自主事業収入等	8,469,600	租税公課等	11,052,773
その他（利息等）	14,206,151	自主事業費	7,322,464
雑収入	2,167,608	その他（事務費・修繕費等）	291,671,599
収入合計	532,588,132	支出合計	540,941,502

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	347	347	347
②年間利用者数(人)	444,059	384,512	235,193
③利用料収入(円) (指定管理者收受額)	85,840,773	83,561,675	61,041,063

5 サービス向上に向けた取組み

- ・受付担当職員を5名配置し、電話等による各施設の案内、使用申込に対応している。
- ・また、大人数で使用される各種大会等においては、施設ごとに利用サービス課の職員が開錠や用具の貸与等、利用者側の要請に応じ（勤務時間外でも）対応を行っている。更に、月に1回の定休日を除いて夜間にも職員2名を配し、当日の夜間利用者の対応を行っている。
- ・利用者からの様々なニーズの把握及び反映に努めている。
- ・ホームページ・ツイッター・インスタグラム・フェイスブックにより、県民に広く情報発信することに努めた。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・各施設の入り口に「笠松運動公園アンケート」を置くことにより、公園利用者の意見（要望事項や気づいた点など）を伺うこととした。

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 24.2%、満足 50.2%、ふつう 25.1%、不満 0.5%、大いに不満 0%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 21.5%、満足 48.8%、ふつう 28.3%、不満 0.9%、大いに不満 0.5%

③施設の清潔さ

大いに満足 22.3%、満足 43.4%、ふつう 32.4%、不満 1.4%、大いに不満 0.5%

④施設の利用しやすさ

大いに満足 19.6%、満足 47.5%、ふつう 31.0%、不満 1.4%、大いに不満 0.5%

⑤施設全体

大いに満足 21.0%、満足 48.9%、ふつう 28.3%、不満 1.8%、大いに不満 0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・アクセスしやすい（22件）
- ・大会の会場として使いやすい（18件）
- ・施設の充実（18件）

【悪い点】

- ・施設の状態（1件）

【要望】

- ・スポーツ教室の継続（1件）
- ・施設の利用方法（1件）

○対応状況

- ・フリーWi-fiをプール棟内に設置した。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務委託し、適切に管理している。毎年、施設整備に係る資料提出を行っている。	A	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。利用者が気持ちよく利用できるような心掛けている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは、適切に修繕している。	A	A
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切な運営を行っている。	A	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	平等・公正な対応を常に心掛け実践している。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	コロナ禍で一部の自主事業が実施できなかったが、入場制限や換気・消毒等の感染対策を行い、利用者の安心安全な施設利用に努めた。	A	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート結果、利用者からの直接の要望等を所内で共有し、随時対応している。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。防火管理者の有資格者を配置している。	A	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	迅速。適切に行っており、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	職員の役割分担を決めて緊急時に行動できるようにしている。毎年、救急救命講習会を実施している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて関係機関との連携は取れている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍で当初計画は達成できなかったが、利用者の感染対策に細心の注意を払いながら施設運営に努めた。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	コロナ禍で例年どおりの稼働率ではなかったが、前年度稼働率からの回復が進んでいる。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	コロナ禍で、計画どおりの収入ではなかったが、収入に合わせた支出を行い、適正に執行できている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	経費削減に努めたが、光熱費高騰の影響は大きく、収支は赤字となった。	B	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による収入減少のほか、光熱費の高騰など厳しい環境であったが、安定した施設の維持・管理が行われ、管理基準を達成している。 ・利用者調整会議の開催により、利用者の円滑な利用予約と利用機会の拡大を図っている。 ・総合的に適正であると評価する。 				

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの